

安全データシート(SDS)

1 製品及び製品情報

製品名	: カネヨクレンザー 14kg
	(品名コード) 0050501
会社名	: カネヨ石鹸株式会社
住所	: 埼玉県深谷市本田ヶ谷120
担当部門	: 品質管理部
電話番号	: 048-573-7851
FAX 番号	: 048-573-7853
緊急連絡電話番号	: 048-573-7851
推奨用途及び使用上の制限	:

2 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響	:
GHS 分類	:
物理化学的危険性	:
爆発物	: 分類できない
可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類できない
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類できない
金属腐食性物質	: 分類できない
健康に対する有害性	:
急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入: 気体)	: 分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2(呼吸器系)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	:
水生環境有害性(急性)	: 区分3
水生環境有害性(長期間)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



- 注意喚起語 : 警告
- 危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
長年にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ (H373)
水生生物に有害 (H402)
- 注意書き
- 【安全対策】 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
- 【応急措置】 : 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 【保 管】 : 特になし
- 【廃 棄】 : 内容物／容器を国／地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。(P501)

3 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 一般名 : クレンザー

成分及び含有量

化学名	含有率(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
天然ケイ酸系鉱物	93	-	-	-
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	2.9	25155-30-0	3-1884	-
その他の成分	残部	-	-	-

4 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 目に入った場合 : こすらずに清浄な水で洗い流し、必要に応じて医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 清浄な水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませる。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし

5 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末消火薬剤
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 自身は不燃性であるので特別な措置は要しないが、できるだけ火元から遠ざける。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 出来るだけ拡散を避け、広域水域等へ流さないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 筈等でかき集め空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 情報なし

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護具を着用すること。
- 接触回避 : 目に入ること、長時間皮膚に接触することを避ける。
- 保 管
- 安全な保管条件 : 水との接触を避け、常温室内保管する。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 情報なし
ACGIH	: 情報なし
設備対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)	: 淡灰色粉末
臭 い	: 原料臭
臭いの閾値	: 情報なし
pH	: 8~10.5(1%水溶液)
融点・凝固点	: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
燃焼性(固体、気体)	: 情報なし
爆発限界	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
比重(密度)	: 情報なし
溶解度	: 水に容易に分散する。
n-オクタノール/水分分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	: 注目すべき反応性はない。
化学的安定性	: 通常の使用では安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の使用では安定である。
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11 有害性情報

急性毒性	: 経口: 情報なし 経皮: 情報なし 吸入: 情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: 情報なし 皮膚感作性: 皮膚感作性物質区分1成分の含有率が1%以上であるため、区分1とした。
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性 単回ばく露	: 情報なし
特定標的臓器毒性 反復ばく露	: 特定標的臓器毒性区分2(呼吸器系)の成分の含有率が10%以上であるため、区分2(呼吸器系)とした。
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: <u>水生環境有害性(急性)</u> 方式3: 加算法 (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3 が濃度限界(25%)以上のため、区分3 に該当。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。 関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 内容物を除去した後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: なし
品名(国連輸送名)	: なし
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
国内規制	: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	: 関係法令の定めに従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認すること。 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 該当する 第1種指定化学物質 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10 から14 までのもの及びその混合物に限る。)(政令番号30)
労働安全衛生法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 特定化学物質、監視化学物質を含有しない。

16 その他の情報

問合せ先	
会社名	: カネヨ石鹼株式会社
住 所	: 埼玉県深谷市本田ケ谷120
担当部門	: 品質管理部
緊急連絡先	: 048-573-7851
引用文献	:

記載内容につきましては当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。
また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。本安全データシートは、日本国内法を基準に作成したものです。この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。